令和4年度第3回安城市総合交通会議

1 日時

令和4年12月13日（火） 午後1時30分～

2 場所

安城市役所 第10会議室

3 出席委員

21名

4 会議内容

1 あいさつ

2 議題

(1) 「安城市地域公共交通計画策定」に係る原案について

3 報告事項

(1) あんくるバス・あんくるタクシー等の利用状況について

(2) その他

■委員からの主な指摘事項と対応について

議題（１）「安城市地域公共交通計画策定」に係る原案について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p>〈運輸支局〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P48 については、バス利用者アンケート結果であるので、知らないから満足度が低い、というのは考えにくいのではないかと。遅延等によってシステムが有効に活用できない可能性もあるのでは。 	<p>〈事務局〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あんくるバスについて、市役所への問い合わせも多くあり、バスロケーションシステムなどについては、まだ認知度が低いと感じている。
<p>〈市民〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現計画の基本方針 1 の評価指標が評価しにくい。乗継時間に対する不満の感覚は人によって違い、他にも様々な要素が影響するため、次の計画の目標値にするのであれば深堀が必要ではないかと。 	<p>〈事務局〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期計画の目標値には設定していないが、サービスの確認指標として設定しており、サービス改善のための分析に用いるために引き続き注視していくべきと考えている。
<p>〈市民〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私はバス利用者であるが、あんくるバスは良くなってきていると感じている。あんくるバス時刻表に鉄道のダイヤも掲載されていて、紙で閲覧でき、大変助かる。 ・今回の計画に「CentX」の記載があったため、前回の会議で紹介されたことを思い出して改めて見返したが、乗り換え検索ができることは失念しており、ダウンロードもしていない。普段利用している自分がこんな状態であるため、アプリのPRには効果があるのか疑問。特に、高齢者には敷居が高く、利用者に届かない可能性は高い。 ・システムのPRだけでなく、JR 安城駅で実施したバス待合所への風よけ設置のような待合環境の改善も不満解消に効果的だと思う。 	<p>〈会長〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービスの利用方法の周知が必要である、という結論ではなく、当然周知もするがその後の改善にむけてチェックしていくことについても記載すべき。 ・周知方法は、よりきめ細やかなやり方が求められる。例えば、高齢者への対策などは、子供に利用方法を展開して、子供から高齢者に教えてあげるなどの方法もあるのではないかと。 ・利用促進策に関する計画への事業内容の記載は現在の記載でもよいが、事業実施の際には、地域や利用者の意見を大切にすること。

<p>〈市民〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは分析する際の有効な手段ではあるが、利用者に直接話を聞くことも重要。今後計画策定する際には、実施してほしい。 	<p>〈事務局〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、地域に入って地域の声を聴いていきたいと考えている。
<p>〈大興タクシー〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、事務局と一緒にバス活用ガイドの内容改定作業を実施しており、タクシーの情報掲載について協議しているところ。アプリ等の利用情報についてもバス活用ガイド等に掲載するとよいと感じた。 ・P19～23の利用実態の整理について、グラフデータの開始年度を揃えた方がよいのではないか。 	<p>〈事務局〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフデータの開始年度は統一するように修正する。
<p>〈タクシー協会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P43 最下段について、安城南高校の通学でのバス利用はなぜ実施に至っていないのか。その後の協議はどうか。 	<p>〈事務局〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議を開始する時期にコロナが流行し、停滞している。記載方法は検討する。
<p>〈市民〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P43⑥について、「ほとんどの方が自ら移動手段を確保しており」とあるが、これは、地域の人ほとんどが自家用車で移動しているということか。 	<p>〈事務局〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会に参加している方のご意見として、参加者のほとんどの方が自家用車で移動しているという意味。意見交換会の結果として記載している
<p>〈運輸支局〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P43⑥の記載は、公共交通が不要であるように感じる。計画全体として、地域公共交通を良くするという視点を持つべきである。 	<p>〈事務局〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P43⑥については、記載内容を再度検討する。
<p>〈町内会連協〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あんくるタクシーという名前がわかりにくく、誤解を与えるのではないか。また、「便」での記載があんくるバスのようにルートが決まっていると捉えられる。 ・また免許返納するとあんくるバスが終生 	<p>〈事務局〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通は、ハード面とソフト面両方の充実が必要である。関係各所と連携し、周知・PRに努める。 ・レンタサイクルはサービス水準が低くなっているため、今後見直しをしていきたい

<p>無料になるという誤解が広がっている。このような誤解を招かないように警察との連携も必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車は、歩道を走るのか、車道を走るのか、どこを走行していいかわからない高齢者が多いため、周知が必要である。 ・レンタサイクルというサービスについても、誰がどういうときに使ってどこを走るものなのかをもっと周知したほうが良い。 	<p>と考えている。</p> <p>〈会長〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知方法は、より身近な方法で実施すべき。実施の際には、その点に留意し、本協議会でしっかり考えて実施することが必要。
<p>〈町内会連協〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P61について、「持続可能」という言葉はSDGsを連想するが、経済のみの記載になっている。 ・P66について、「通学」については学校関係者との協議を踏まえて検討してほしい。小、中、高どこが対象になるのか。 	<p>〈事務局〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済的な面が大きな課題と考えている。誤解を与えないような記載となるように検討する。 ・町内会から意見をもらっている地域もあり、対象を限定せず、今後学校関係者、PTA等と協議して対象を検討していく。
<p>〈タクシー協会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P63について、目標値は2027年度までの目標という意味か。 ・会の立ち上げが目標になるのか。仕組みの構築が目標ではないのか。P77には「移動サービスを実際に利用する地域住民が」とあるが、利用する人だけが対象なのか。 	<p>〈事務局〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2027年度までの目標という意味。 ・P77の表現について、誤解のないよう、記載内容を修正する。
<p>〈エプロン会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P30について、東山校区は満足度が低いわけではなく、明祥校区の不満足度が高く問題ではないか。 ・自転車のマナー、ルールを啓発する施策も必要ではないか。広報に掲載するなど。 ・町内会など地域組織が高齢化や成り手不足で機能しなくなっており、そこをきっかけとした新たな会の立ち上げは難しい。一般募集から進めた方がよい。 ・P40について、誤字「手前」は「手間」。 	<p>〈事務局〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校區別に見ると明祥校区の不満足割合が高いが、2時点を比較すると不満足割合が増加しているのは東山校区のみであり、そこに着目した記載となっている。 ・自転車活用推進計画を策定しており、自転車施策も重要と考えている。今後、ルール・マナーの周知を推進していきたい。 ・誤字については、修正する。

<p>〈大興タクシー〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P63 について、目標 2 の国庫補助は、今後も固定額でもらえると確定しているのか。一人当たりの市負担額は、補助金額によって変動してしまうのではないか。 	<p>〈事務局〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助は金額や継続でもらえることが確定しているものではないが、今後も継続して補助を受けて運行を維持していきたいと考えている。
<p>〈市民〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P63 について、目標値は 2019 年度となっているが、P47 と数字が合わないので確認してほしい。 ・目標 1 は鉄道の割合が大きすぎて、他のモードがほとんど寄与しない。 ・目標 1 は、2019 年に戻すとして、中部運輸局の提言やトレンドより大きな数字としているが、本当に可能なのか。 ・目標 3 は当たり前なことではないか。 	<p>〈事務局〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値については再度検討する。 ・確認指標の記載については再度検討する。
<p>〈会長〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道の割合が大きいが、鉄道に関する施策はない。他のモードについては、事業を様々設定しているが、実施しても割合が小さいので、影響がほとんど出てこない。 ・目標 1 の値は、公共交通全体の目標として、市としてこれで行くということであればよいが、少なくとも施策の評価指標として適切な記載方法が必要。再度事務局で検討すること。 ・目標 3 については、会を作ることが目的ではなく、仕組み、制度が重要。 ・確認指標については、「確認」としか記載がなく、確認してから次につなげるということが重要である。 	
<p>〈会長〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題には記載があるが、その後に地域の輸送資源の総動員について記載がないので、触れておくこと。 	<p>〈事務局〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記載を検討する。

<p>〈名鉄バス〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P44 と P63 で会の名称が「応援する会」から「考える会」に変わっているが、何か意図があるのか。「考える会」というのは交通事業者の観点からみると、交通について、少し否定的な印象があるがどのように考えているのか。 	<p>〈事務局〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の方に公共交通を「自分ごと」として考えてもらうことを目標として名称を変更している。 ・ 市民だけでなく、行政、交通事業者等の地域が一体となって公共交通を盛り上げるような会にしたいと考えている。
<p>〈運輸支局〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新モビリティの調査研究については、市としてやっていきたいという意向があると感じるが、関係者の意向を確認しているのか。 	<p>〈事務局〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市として方向性が決まっているわけではなく、導入の必要性や可能性を検討するという意味で記載している。

報告事項（１） あんくるバス・あんくるタクシー等の利用状況について

意見なし

報告事項（２） その他

- ・ 大河ドラマに関連した公共交通 PR について
- ・ 次回会議：2023 年 1 月 10 日(火)13:30～